

平成20、21年度 中期目標の達成状況報告書

平成22年6月
島根大学

目 次

I. 中期目標の達成状況

1 教育に関する目標の達成状況	1
2 研究に関する目標の達成状況	5
3 社会との連携、国際交流等に関する目標の達成状況	7

II. 「改善を要する点」についての改善状況	9
------------------------	---

I. 中期目標の達成状況

1 教育に関する目標の達成状況

中項目	1 教育の成果に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	① 学部段階では幅広い教養と基礎的な専門知識を身につけ、課題探求能力と問題解決能力を涵養するとともに、修士課程及び博士前期課程では応用力を養い、博士後期課程では専門分野の学問を修得させ、創造力及び応用力を養う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目2	小項目	② それぞれの専門を活かして、自主的に進路を選択し、決定できる学生を育成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目3	小項目	③ 教育の成果・効果の検証を行い、改善に努める。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
中項目	2 教育内容等に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	① 大学の理念・目的に沿って、知的好奇心が旺盛で勉学意欲があり、目的意識が明確な学生を、多様な入学者選抜方法で受け入れるために、入試実施体制と入試組織を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2	小項目	② 入学者選抜に関する評価を推進し、その改善に努める。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3	小項目	③ 教育目的・目標に即して教育課程を編成し、体系的な授業内容を提供する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4	小項目	④ 社会・地域の多様なニーズに対応した教育システムを整え、グローバルな視点から社会にコミットできる学生を育成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目5	小項目	⑤ 教育の質を保証する厳格な成績評価を実施する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	3 教育の実施体制等に関する目標		
-----	------------------	--	--

小項目番号	小項目1	小項目	① 大学の理念・目的に沿った教育を実現するために必要な教育体制及び教育支援体制を整える。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2	小項目	② 外国語教育の企画・立案・実施体制を確立する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3	小項目	③ 附属図書館は、教育・研究及び学習を支える知的情報を提供する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4	小項目	④ 情報ネットワーク等を含む教育環境を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目5	小項目	⑤ 教育活動の評価システムを確立する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目6	小項目	⑥ 社会の要請を踏まえ、学部及び大学院の新設・改編・充実を行う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	4 学生への支援に関する目標		
-----	----------------	--	--

小項目番号	小項目1	小項目	① 学生の学習支援体制を強化する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2	小項目	② 課外活動及びボランティア活動の支援体制を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3	小項目	③ 学生の生活支援体制を強化する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4	小項目	④ 学生の就職支援体制を強化する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画4-2	【59】既卒者に対する就職支援を強化するため、就業状況や求人情報を取りまとめた情報システムを整備する。		<p>ジョブカフェしまね及びハローワークとの連携を強化し、中途採用情報を含む既卒者向け求人情報を充実させ、キャリアセンターホームページに掲載し学外からのアクセスが可能な情報システムを整備した。</p> <p>さらに、システムの利用促進を図るため、本学ホームページのトップにキャリアセンターホームページをリンクさせることで利便性を高めるとともに、「既卒者求人情報の更新」を新着情報に掲載することで、既卒者に対する就職支援の実施が利用者の目に留まりやすいよう、工夫した(別添資料Ⅱ-1、p 1)。</p> <p>また、平成21年度からは島根県商工労働部雇用政策課と連携し、県内企業の求人情報を電子データで受領することで新卒・既卒の分別等も容易になり、速やかな情報提供が可能になった。</p> <p>このように、ホームページを活用して最新の求人情報を迅速に提供できるシステムを整備し、さらに利便性を高めるための改善を行い、既卒者に対する就職支援の強化を図った。</p>

小項目番号	小項目5	小項目	⑤ 留学生の生活支援体制を強化する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

2 研究に関する目標の達成状況

中項目	1 研究水準及び研究の成果等に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	① 地域における知の拠点として、社会の要求に応えられる多様な学問分野を育成するとともに、特色ある研究を強化し、国際的に評価される研究拠点を構築する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目2	小項目	② 研究成果を学内研究者で共有するとともに、積極的に社会に還元する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目3	小項目	③ 国内外のトップレベルの水準として評価される研究を維持・創出することを目指す。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
中項目	2 研究実施体制等の整備に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	① 研究体制を整え、研究目的・目標の達成に結びつける。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2	小項目	② 研究目的と規模に応じて、適切な研究支援体制と研究環境を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3	小項目	③ 研究活動等の状況や問題点を把握し、研究の質の向上及び改善を図るための評価システムを整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4	小項目	④ 組織の改組転換を含め、教育機能、研究機能を再検討し、教育研究の進展や社会的要請に柔軟に対応する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

3 社会との連携、国際交流等に関する目標の達成状況

中項目	1 社会との連携、国際交流等に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	① 「地域とともに歩む大学」として、生涯学習社会に対応した社会貢献の推進、地域産業界・地方公共団体との連携を強化し、学内外の研究組織・機関との連携・協力を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画1-7	【88】平成19年度末までに、共同研究を前提としてポストドクトラルフェロー(PDF)を地域企業等に派遣し、研究成果が確実に地域産業の振興に反映できる制度を検討する。		共同研究を前提としたポストドクトラルフェローの地域企業等への派遣について、その有効性を複数の地元企業と意見交換するとともに、他大学の状況及び平成19年度に実施した試行的ポストドク派遣の結果を総合的に検討した。 研究成果が地域産業の振興に反映できる制度の確立を目指し、「島根県経済団体と島根大学との懇談会」において博士研究員(ポストドクトラルフェロー)派遣による企業等との研究協力について提案し、包括的な提携に向けた協議を進め、島根県商工会議所連合会、島根県商工会連合会、島根県中小企業団体中央会及び島根経済同友会との間で「島根大学博士研究員等派遣研究事業に関する協定書」を締結し派遣制度を確立した(平成22年3月25日協定締結。別添資料Ⅱ-2、p2)。
小項目番号	小項目2	小項目	② 独自の国際貢献に関する目標を明確にし、推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目3	小項目	③ 外国人留学生の積極的な受入を図るとともに、受入体制の整備を推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4	小項目	④ 海外の大学・研究機関等との連携・交流を推進するとともに国際共同研究を推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目5	小項目	⑤ 外国人研究者の受入体制を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目6	小項目	⑥ 海外先進教育研究実践支援プログラム等、教職員の海外派遣体制を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目7	小項目	⑦ 学生の海外派遣を推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目8	小項目	⑧ 附属図書館は地域社会との連携及び国際化への対応を推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

Ⅱ. 「改善を要する点」についての改善状況

改善を要する点	改善状況
<p>【教育】</p> <p>○ 中期計画「既卒者に対する就職支援を強化するため、就業状況や求人情報を取りまとめた情報システムを整備する」について、就職相談のみで、情報提供のためのシステム整備は十分に進捗しているとはいえないことから、改善することが望まれる。</p>	<p>ジョブカフェしまね及びハローワークとの連携を強化し、中途採用情報を含む既卒者向け求人情報を充実させ、キャリアセンターホームページに掲載し学外からのアクセスが可能な情報システムを整備した。</p> <p>さらに、システムの利用促進を図るため、本学ホームページのトップにキャリアセンターホームページをリンクさせることで利便性を高めるとともに、「既卒者求人情報の更新」を新着情報に掲載することで、既卒者に対する就職支援の実施が利用者の目に留まりやすいよう、工夫した(別添資料Ⅱ-1、p1)。</p> <p>また、平成21年度からは島根県商工労働部雇用政策課と連携し、県内企業の求人情報を電子データで受領することで新卒・既卒の分別等も容易になり、速やかな情報提供が可能になった。</p> <p>このように、ホームページを活用して最新の求人情報を迅速に提供できるシステムを整備し、さらに利便性を高めるための改善を行い、既卒者に対する就職支援の強化を図った。</p>
<p>【社会等】</p> <p>○ 中期計画「平成19年度末までに、共同研究を前提としてポストドクトラルフェロー(PDF)を地域企業等に派遣し、研究成果が確実に地域産業の振興に反映できる制度を検討する」について、平成19年度は試行的派遣実施にとどまっており、制度化が十分に進捗しているとはいえないことから、改善することが望ましい。</p>	<p>共同研究を前提としたポストドクトラルフェローの地域企業等への派遣について、その有効性を複数の地元企業と意見交換するとともに、他大学の状況及び平成19年度に実施した試行的ポストドク派遣の結果を総合的に検討した。</p> <p>研究成果が地域産業の振興に反映できる制度の確立を目指し、「島根県経済団体と島根大学との懇談会」において博士研究員(ポストドクトラルフェロー)派遣による企業等との研究協力について提案し、包括的な提携に向けた協議を進め、島根県商工会議所連合会、島根県商工会連合会、島根県中小企業団体中央会及び島根経済同友会との間で「島根大学博士研究員等派遣研究事業に関する協定書」を締結し派遣制度を確立した(平成22年3月25日協定締結。別添資料Ⅱ-2、p2)。</p>